

学校の様子(12/2～12/6)

12/2(月)朝会

今朝の朝会は、はじめに表彰を行いました。長久手市防火作品と尾教研書写コンクールに関する表彰です。代表の人に賞状を渡しました。朝会では次のような話をしました。



今朝も表彰があり、嬉しい1週間のスタートになりました。素晴らしいことですね。

先週も嬉しいことがいっぱいありました。1つは、秋の実り図書館まつりで、たくさんの方が、いっぱい本を読んだことです。読書の木にもいっぱい実がなりましたね。先生にも読書ゆうびんが届いたのでとっても嬉しかったです。おすすめの本を読んで、またまた嬉しい気持ちになりました。みなさん、これからもいろいろな本と出会ってくださいね。

嬉しいことのもう一つは、一生懸命に走る姿の6年生を見たことです。感動を覚えました。どの学年の皆さんも、一生懸命な姿は素晴らしいですが、6年間の思いが詰まっているのか、6年生の本気の顔には心を打たれました。皆さん、いよいよ明日あさってですね。自分との勝負に打ち勝って、最後まで力をふりしぼって走りきってほしいです。一人一人の本気のチャレンジに期待しています。

嬉しいことのもう一つは、目と目を合わせてあいさつができる人や地域の方にも自分からあいさつができる人が増えたことです。また、児童会やあいさつ委員会の皆さんの中にも、市が洞小学校を本気で盛り上げようとしている人が現れたことです。大変嬉しく思います。以上嬉しいことのお話しでした。

最後に今日はもう一つお話をします。人権週間についてです。今週末は人権週間です。

人権という言葉を使うと難しいと感じる人もいるかもしれませんが、「人を大切にする」と言い換えたらどうでしょう。では、「人を大切にする」ってどういうことなのでしょう。

まわりの人にあいさつをしたり、人の話を最後まで聞いたり、元気のない子に「どうしたの?」と声をかけたり、困っている人を見かけたら助けたり…。これってどれもその人のことを大切にしていますよね。

反対に、自分がされていやなこと、言われると傷つくこと、そんなことを人にしたり、言ったりすることは、その人を大切にするとは全く違うことですね。

自分と、自分のまわりの人のことを考えてみてください。教室やいっちょ一タイムや分団での登下校のことを思い出してみてください。自分と違うからといって、気が合わないからといって、仲間はずれにしたり、強い言い方をしたりして、つらい思いをさせてはいないでしょうか。また、嫌な思いをしている人が近くにいるのに、見ていて知っているのに、何もしていない自分はいないでしょうか。

市が洞小学校の皆さんは、温かい心をもった集団だと思います。正しいことは正しいとわかる集団だと思います。自分も気持ちよく幸せに過ごす。そして、自分の周りの人たちも気持ちよく幸せに過ごす。そういう市が洞小学校でありたいです。

これは、今年度の愛知県の人権啓発ポスターです。二人の人の絵が描かれています。おもしろい顔のようにも見えます。文字は小さくてみなさんからは見ええないと思いますが、このように書かれています。

みんな、ちがう。
だからこそ、
私らしく生きよう。

みんな、おなじ。
だからこそ、
あなたらしさに
私は寄り添う。

ひとりひとり、みんな違う。今ここに1200人くらい集まっていますが、一人一人はみんな違いますよね。一人一人違うからこそ、自分を大切にして、私らしく生きようということです。

そして、みんなおなじ。一人一人みんな違うのだけれど、みんなおなじ大切な一人一人。だからこそ、あなた、あなたらしさに、私は寄り添いますというメッセージです。

今週末は人権週間です。「人権」について、今一度クラスでも、担任の先生と一緒に考えてみてください。



書写コンクールの表彰



人権週間の話



今週のめあて

12/3(火)4(水)かけ足運動記録会

月曜の雨の影響が心配されたかけ足運動記録会でしたが、3日は2～4限に4・2・6年生が、4日は3・1・5年生が実施することができました。12月になってますます寒さが厳しくなる中、子どもたちはこれまでの最高記録を更新しようと、一人一人が力いっぱい走り、走り終わった子どもたちの中には、「〇位になったよ!」と満面の笑みの子や「前のときは〇位だったのに・・・」と少々残念そうな子や「最後に〇人追い抜いたよ!」と嬉しそうに話す子など、頑張ったからこそ色々な思いがありました。私としては、順位や勝ち負けよりも、自分との勝負に打ち勝って全力を出しきってほしいとの思いがいちばんでしたので、「みんなよく頑張ったねえ」と声をかけながら、「今回の記録はどうだった?」「自分の最高タイムが出たかな」と声をかけると、結構多くの子どもたちが本番でいちばんの記録を出していました。改めて子どもたちの頑張りに嬉しい気持ちになりました。前回よりも順位が下がって残念そうな顔の子も、「最高記録が出たなら凄いじゃん!よく頑張ったねえ」の声に笑顔が戻ったように見えました。順位は人と比べることになるので頑張っても下がる場合があります。だから自分の記録に挑戦することが大切だと思っていますが、順位はやはり気になるようです。上位に入れば嬉しいし、それは凄いことだと思いますが、得意不得意にかかわらず、みんなが目標をもって意欲的に取り組むことができる活動にしていきたいです。

本番当日は、多くの保護者の方からも子どもたちに声援を送っていただき、また、温かい拍手もいただき、大変ありがたかったです。ありがとうございました。



4年生



2年生



6年生



3年生





1年生



5年生

12/4 (水) 2年生：ふかしいもの会

11月にいも掘り体験をさせていただいてから、子どもたちは今日の「ふかしいもの会」をとても楽しみにしていました。今回も地域の方々とともに花ボラをはじめとする保護者の皆様にもお手伝いいただき、収穫したサツマイモをふかしいもにしてご馳走していただきました。皆様方の温かい笑顔に囲まれて、子どもたちも笑顔いっぱいで大変おいしくいただきました。多くの皆様方に見守られて支えられている市が洞小の子どもたちは本当に幸せです。いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



12/5 (木) 避難訓練

いっちータイム終盤から3限にかけて避難訓練を行いました。今回は地震により放送機器が故障したことを想定しての訓練です。この時間に行くことは子どもたちには知らせておりません。地震発生の緊急放送のみ始めに行い一次避難（安全な場所でのシェイクアウト）をし、その後は職員の指示で運動場に全員集まりました。今回の訓練では、一次避難を素速くできるようになっていることが子どもたちの動きから見て取れました。しかし、職員を含めた1200人全員が安全に避難するためには、いろいろな場合を想定しておく必要があること、特に集合時には「お・は・し・も」の「し」しゃべらないことが大切であることなど、今後に向けた課題もありました。訓練のための訓練にならないよう我々職員の意識も高めていきます。



12/5（木）植樹式

平和事業の一環として、被爆樹木二世の苗木を植樹しました。被爆樹木二世とは、広島・長崎で原子爆弾の惨禍に遭いながらも再び芽吹いた樹木二世のことで、今回植樹したクスノキ二世は、長崎で被爆したクスノキの種から育てられた苗木です。植樹式には長久手市主催のもと、児童会と園芸委員会の子どもたちが参加して、クスノキの苗木を植えました。今回の植樹式の様子は、テレビや新聞社が取材に訪れ、代表児童はインタビューにもしっかりと答えています。平和や命の尊さ、自然環境を大切にすることをクスノキの生長とともに育てていきたいです。



12/6 の中日新聞「なごや東版」に掲載されました。

12/3（火）～6（金）PTA見守り運動

登下校の見守り活動にご協力いただきありがとうございます。登下校の時間に合わせてお子様の分団と一緒に歩いていただいたり、通学路や分団集合場所での見守りをさせていただいたり、いつも本当にありがとうございます。地域の皆様方とともに、今後も多くの目で子どもたちの安全を見守っていきたく思っております。どうぞよろしく願いいたします。



<日曜日の体育館にて>



PTA：親子 DE ブレイクダンス！（12/1 実施）で講師を務める天野先生と YELLOW SUNS の皆さん